

(仮訳)

プレスリリース

2017年1月3日

バーゼルⅢ見直しの最終化について

バーゼル銀行監督委員会（以下「バーゼル委」）の上位機関である中央銀行総裁・銀行監督当局長官グループ（以下「GHOS」）は、バーゼル委の金融危機後の規制改革作業の完了に向けた進展を歓迎する。

しかしながら、GHOSが見直し提案のパッケージをレビューする前に、資本賦課の最終的な水準調整を含め、いくつかの作業を終わらせるため更なる時間が必要である。このため、当初1月初めに予定されていたGHOS会合の開催を延期することとした。バーゼル委として、こうした作業を近い将来に完了することが期待される。

GHOS議長であるマリオ・ドラギ欧州中央銀行（ECB）総裁の談話は次のとおり。「バーゼルⅢの最終化は、リスク加重された銀行の自己資本比率に対する信頼の回復に向けた重要なステップであり、我々は、その達成に引き続きコミットしている。」

バーゼル委議長であるステファン・イングベス・スウェーデン中銀総裁は、バーゼル委が、残された規制枠組みの詳細についての作業を継続するとして、次のとおり述べた。「バーゼル委は、銀行をより安全かつ強靱なものとするため、金融危機によって明らかとなった問題点を修復することを目指す規制改革の最終化に向けた作業を継続する。」

バーゼル委及びGHOSについて

バーゼル委は、中央銀行、および銀行業の監督について公式な責務を負う当局からなる28地域の45メンバーで構成されている。バーゼル委は、そのメンバーである中央銀行総裁と（中央銀行以外の）銀行監督当局長官に対して報告を行う。バーゼル委、そのメンバーシップ、組織およびガバナンスに関する詳しい情報は、以下のウェブサイトを参照されたい。

www.bis.org/bcbs/about.htm